

提出時は G 分けが未定なので空欄のまま

事例区分に○をつける。  
複数も可。

演習メンバー名  
は空欄のまま

受講者氏名を記載

【厚生労働省平成30年度障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者ガイドラインの作成及び普及事業」モデル研修資料】 G002H

**研修課題A-1事例報告書**      事例区分(精神・**知的**・身体・児童)      **イ-3**

**【 G 事例作成受講者名: 沼田 章 【演習メンバー名: 】**

イニシャル: <b>バイク好きなAさん</b>	性別: <b>男</b>	年齢: <b>36</b>	障害名(程度)・区分: <b>知的障害(療手B)</b> 障害程度区分2
-------------------------	--------------	---------------	---

福祉サービスの利用状況: **就労継続支援B型事業所**

検討したいこと((意思決定支援について困っている事、多職種連携について困っている事))  
 事業所サービス終了時間の様子を見ていると、迎えが来たGH利用者の後追いをすることが多く、GHでの生活をしたいのかなと思うが、本人に質問をしても「わからん」と答える。母や通所事業職員は本人に「家が良いよね」というと「そうそう」と肯定するが、笑顔で答えているわけでもなく、果たしてそれが本人の意思なのかどうか分からない。言葉を変えて質問してみると明確な返答はない。本人の意思を確認するため、本人より先に、母や事業所職員が先に答えてしまい、本人が「そうそう」としか言っているようにも感じも受ける。  
 本人に選択肢を与えるためGH見学をチャレンジしたいが、どのような方法をとれば良いか助言が欲しい。

**【障害名】**を記載し、その後ろに**【程度(手帳程度)】**を記載。さらに**【障害程度区分】**を記載。

内容の記載例は、講義1テキストの11頁から掲載されています